

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital

News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No.67

令和2年1月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 2
- ・ 講演会のご案内 2

2020年 新年の挨拶 3

病院のトピックス

- ・ 第48回 法円坂地域医療フォーラム 5
- ・ 第73回 国病学会 7
- ・ ソワレのはじまりに 8
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 10
- ・ NHO PRESS ～国立病院機構通信～について 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

地域医療連携室 令和2年1月発行 67号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
2020/1/1	心臓血管外科医長	吉龍 正雄	採用
2020/1/1	整形外科専攻医	佐々木うらら	採用
2020/1/7	糖尿病内科専修医	種田 灯子	育児休業復帰

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
2019/12/31	消化器内科専攻医	平尾 建	退職
2019/12/31	整形外科専攻医	河野壮太郎	退職

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和2年2月 8日(土) 15:00～17:30	第49回法円坂地域医療フォーラム	テーマ：緩和ケア最新トピックス～人生会議を考える～ 担当：緩和ケア内科	医師及び医療従事者
令和2年2月22日(土) 14:00～16:30	第69回おおさか健康セミナー	テーマ：肝臓がん、膵臓がんを知る 担当：肝胆膵外科・消化器内科	一般市民
令和2年5月23日(土) 14:00～16:30	第70回おおさか健康セミナー	テーマ：未定 担当：泌尿器科	一般市民

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅⑩号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

2020年 新年の挨拶



明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。いよいよ今年にはオリンピックイヤーですね。

旧年中はあたたかいご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、皆さま方のご多幸・ご繁栄をお祈りいたしております。

今年度も昨年度に引き続き、大阪市二次医療圏の公的・私的病院院長が一同に会し将来のあるべき医療供給体制について、それぞれの現状と未来構想につき意見交換、情報共有しました。当院は地域における「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等の高度急性期・急性期医療を提供すると共に、特別な医療需要に対する在宅医療も提供し、地域とのつながりを益々深めていきたいと考えています。ひきつづき、医師・医療者向けの「法円坂地域医療フォーラム」や「緩和ケアセミナー」、市民向けの「おおさか健康セミナー」などを定期的開催いたします。また未来の医療人を育てるために、中学生・高校生向けに「アドベンチャーHospital in 大阪医療センター」を毎年行い、大変好評です。

さて、今年にはネズミ年、十二支では最初の干支で「種子のなかに新しい生命がきざし始める状態」を表します。十干十二支では、庚子（かのえね）で、かのえ、は更新の更にも通じる字で、新たな形に変化しようとする状態を示します。かのえ、と、ね、が合わさると変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのに適した年とも言えるでしょう。

大阪医療センターの令和2年度における新たな試みとしてハッピーマンデーの4日間を通常診療することといたしました。手術や診療にできるだけ谷間ができないようにすることは現在通院されている患者さんのみならず地域医療にも貢献することと考えます。2020年8月10日、9月21日、11月23日、2021年1月11日の4日間ですでに外来枠もオープンにしています。外来インターネット個人医師枠予約もご利用頂きありがとうございます。CT・MRIにつきましては、診療科を介さず、放射線科地域医療枠の直接の予約と翌日の所見返信をしております。是非ご活用頂ければ幸いです。救急対応については今後共「断らない救急」を合言葉にできるだけ多くの患者を受け入れ地域の救急医療にも貢献してまいりたいと思います。

我々は専門性の高い良質の医療、地域に求められる医療を提供できていると自負しています。この特長を生かし、更なる医療の質の向上、地域への還元をさらに進めていきたいと考えております。また診療のみならず、教育・研修、臨床研究、情報発信についてもこれまでの活動を継続させ、より一層発展させていく所存です。

本年も、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 院長 是恒 之宏

2020年 新年の挨拶



新年おめでとうございます。

平素より地域医療連携の充実にご協力いただきありがとうございます。

近年病診連携の重要性がますます高まっておりますが、大阪医療センター地域医療連携室では、診察予約や情報の発信・共有、医療相談などに専任の担当者を配置して業務を行っています。

当院では、外来診療だけでなく、画像検査、セカンドオピニオン等のご予約を承っております。診察予約の方法は、従来のFAXに加えて、インターネット予約サービスもご利用いただけます。医師指定予約も可能でスムーズな外来予約が可能となっておりますので、是非一度ご利用してみてください。

情報発信として、本年も本誌ONHニュースを年4回発行し、新任医師の紹介や外来担当医の変更等の情報とともに、当院の専門性の高い最新医療等の情報を発信してまいります。また、市民向け講座「おおさか健康セミナー」、医師・医療者向けの学術講演会「法円坂地域医療フォーラム」や研修会を定期的で開催してまいります。

医療相談室では患者さんの療養上の不安や悩みに対応し、がん相談支援センターではがん患者さんやご家族のさまざまなご相談にも対応しております。そのニーズはますます高まっており、医療ソーシャルワーカーの体制をさらに充実させて対応してまいります。

旧年中に賜りましたご支援に感謝申し上げますとともに、本年も大阪医療センターとの地域連携にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 地域医療連携推進部長 巽 啓司

第48回 法円坂地域医療フォーラム

国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸

令和元年11月16日（土）午後3時から当院の災害医療棟にて、第48回法円坂地域医療フォーラムを開催いたしました。院内外合わせて28名の聴衆にご参加いただき、『総合診療を楽しもう』というテーマで、当院で行われている総合診療科の活動状況を中心に講演させていただきました。秋晴れの土曜日の午後でしたが、多数の先生方のご出席のもと、無事開催することができました。

第1部は、まず中島より「大阪医療センター総合診療科の紹介」というタイトルで当院総合診療科の活動について紹介しました。主に外部開業医の先生方の応援を得て行っている総合診療外来、5人の診療看護師がファーストタッチを行っている時間内二次救急、そして常時20名近くになる入院患者さんの診療が主なところです。

第2部では、中島より「誰でもできる診察の工夫」というタイトルで、とかく高額医療機器頼みの診療をしていると思われがちな大病院でも問診と身体診察を大切にしながら診療を行っているということを述べ、出席者の皆さんが自施設で明日から使える診療の工夫について披露いたしました。

第48回 法円坂 地域医療フォーラム

テーマ 『総合診療を楽しもう!』

日時：令和元年11月16日（土） 15:00～17:30
 場所：大阪医療センター 緊急災害医療棟3階 講堂
 大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL 06-6942-1331
 主催：「法円坂地域医療フォーラム」運営協議会

【司会】 国立病院機構 大阪医療センター 地域医療連携推進部長 巽 啓司

1. 開会挨拶
 国立病院機構 大阪医療センター 院長 是恒 之宏

2. 講演
 【座長】 国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸
 「大阪医療センター総合診療科の紹介
 ～JNP（診療看護師）の活躍～」
 国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸
 「誰でもできる診察の工夫」
 国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸
 「ポリファーマシーの予防と解決」
 国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸
 「実践！ 医事紛争対応」
 国立病院機構 大阪医療センター 総合診療部 部長 中島 伸

3. 閉会挨拶
 国立病院機構 大阪医療センター 副院長 三田 英治

・参加費無料 ・当日受付可 ・大阪府医師会生涯教育研修指定申請中
 申し込み・お問い合わせ先：大阪医療センター地域医療連携室 安東 06-6946-3516



第3部では中島より「ポリファーマシーの予防と解決」というタイトルで、近年問題となっているポリファーマシーについて、その定義、何故起こるか、どう防ぐかについて論じました。

最後に第4部では、中島より「実践！ 医事紛争対応」というタイトルで、まずは有責の3要件という基礎知識を確認し、その後は中島自身が見聞した医事紛争について、その原因、どう対処し、どう解決するかについて話をさせていただきました。

4つのテーマとも、実際に診療を行っている医師にとっては身近な、あるいは切実な問題であり、

何か1つでも今後の日常臨床に生かしていただくことができれば、とあって準備いたしましたが、幸いなことに活発な質疑応答で盛り上がり、講演後のアンケートでは出席者全員から高評価をいただくことができました。

最後になりましたが、当日ご参加いただきました地域の先生方に心より感謝申し上げます。またご挨拶をいただいた院長、副院長、また事前、当日と早くからご準備いただいた事務部スタッフの方々に深謝いたします。



第73回 国病学会

国立病院機構 大阪医療センター 精神科 山路 國弘

令和元年11月8日、9日に名古屋市で開催された第73回国立病院総合医学学会にて、精神科からポスター発表を行いました。発表テーマは、大阪医療センター精神科（西7階）病棟の特徴についてです。

当医療センター精神科病棟は、平成27年10月1日に精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に則り、精神科身体合併症病棟として4床で運用が開始され、平成31年3月31日で、3年6か月が経過しました。今回精神科に入院された患者様のうち、自殺企図症例に焦点を当て調査を行いました。

平成27年10月1日から平成31年3月31日までの間に精神科に入院した77例のうち自殺企図による入院は60例でした。この60例について、精神科診断名、性差、年齢、企図時の飲酒の有無、企図手段、企図の動機、入院日数、転帰を後方視的に調査しました。

自殺企図症例で最も多い精神科診断（ICD-10）は、F3気分障害（60.0%）でした。年齢別では、男女とも20歳代が最も多く、男性27.6%、女性41.9%でした。企図時の飲酒は、18.3%で確認され、企図手段は、飛び降り38.3%で最多でした。企図手段によって入院日数にばらつきがあり、飛び込み、飛び降り、焼身が他の手段に比して長期間でした。企図の動機で最も多いのは、勤務問題（31.7%）でした。当医療センター入院日数の平均は72.8日、救命救急センターの入院日数の平均は16.9日、精神科病棟の入院日数の平均は、44.9日でした。また、転帰は自宅退院が81.9%で最多でした。

精神科の自殺企図患者様の特徴として飛び降りが多いことがあげられます。飛び降りによる多発外傷では、入院期間は長期化する傾向がありますが、身体的なりハビリと並行して精神科的な治療も可能となるため、約8割の患者様が自宅に退院することができていました。心身両面から治療を



行うことができるのは精神科身体合併症病棟の利点と考えられます。

座長の先生からは、「3次救急をされている施設には大変な患者様がおられますね。」とのコメントをいただきました。

今回発表させていただいたことから、当医療センターにおける精神科病棟の役割は決して小さくはないと感じることができました。



ソワレのはじまりに・・・

ボランティアコーディネーター 小嶋 清文

クリスマスコンサートは冬の夕暮れに講堂で華やかに催されました。

カフェ・ド・クリエの中庭にはポインセチアとジュリアがボランティアにより綺麗に植え付けられ、クリスマスの風情になりました。



ソワレのクリスマスコンサート開演に先だち、上松副院長先生から出演される音楽ボランティアと司会のみなさんに感謝状が授与されました。



冬の黄昏^{たそがれ}どきのクリスマスコンサートは入院患者さんとそのご家族116名とボランティアスタッフや職員、総勢140名以上となり、例年以上の数になりました。

大阪医療センターのボランティアスタッフには会場のクリスマスツリーの飾り付けや、患者さんへの院内順路案内や講堂での場内整理を担っていただきました。

また、コンサート終了後の片づけなどもしてもらい、帰路は日が沈んでからの夜道になりました。毎年、開催される“サマーコンサート”“オータムコンサート”“クリスマスコンサート”。時にはボランティアの苦勞を忘れがちになりますが、毎年開催されるコンサートには音楽ボランティアや大阪医療センターボランティアは無くてはならない存在です。

たくさんのボランティアの方々のお世話になりながら、コンサートが無事、滞りなく開催されております。

コンサートの演奏曲の中には慣れ親しんだ曲、クリスマスソング、年末恒例の第九もありました。♪赤鼻のトナカイ♪の歌の時には上松副院長と看護師さん達が壇上に登り、手話をされ会場の雰囲気盛り上げて頂きました。

プログラムの“みんなで歌いましょう”では観客の多くが熱唱し、♪きよしこの夜♪「交響曲第9番」♪を大きな声で歌いました。

おわりに西本看護部長のご挨拶があり、第48回愛の夢クリスマスコンサートは終了になりました。たとえ、ひと時とはいえ、たくさんの患者さんのところを癒すことができたことは、クリスマスコンサートを開催したボランティア一同、喜びに堪えません。

これからも皆様のご協力のもと、大阪医療センターのコンサートが脈々と続くことを祈念いたします。

末筆ではありますが、全幅のご支援、ご協力を頂戴した大阪医療センターボランティア「法円坂」「患者情報室」の方々や、遠くからお越し頂いた音楽ボランティア、司会の方、また、クリスマスコンサート開催にあたり、開場設営をした職員の方に厚く御礼申し上げます。

大阪医療センターのボランティアは無報酬、交通費も自己負担で活動を続けております。

再来受付機・院内の案内や患者情報室での対応、

小児患者への絵本の読み聞かせ、生け花、外構緑化など100名程度のボランティアで幅広く活躍しております。

院内で活動しているボランティアを見かけたら、労いの言葉をお願いしたいと思います。



令和元年12月10日（火）午後4時～
第48回 愛の夢 クリスマスコンサート

司会：八田 淑子

ピアノソロ：佐竹 史子

♪シバの女王

♪サン・トワ・マミー

♪枯葉

♪秋色の情景（オリジナル）

ピアーチェ：歌 ピアノ 平田 雅代・バイオリン 浜田 里香・フルート 川瀬 千佳江

ピアノ 山口 美樹子

♪「くるみ割り人形」より行進曲・・・チャイコフスキー

♪トルコマーチ・・・モーツァルト

♪主よ人の望みの喜びよ・・・バッハ

♪赤鼻のトナカイ・・・マークス（手話あり）

♪そりすべり・・・アンダーソン

♪きよしこの夜・・・クルーバー（みんなで歌いましょう）

♪「交響曲第9番」より喜びの歌・・・ベートーヴェン（みんなで歌いましょう）



脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したのではなく、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL: 06-6942-1331 (代)

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

NHO PRESS ~国立病院機構通信~について

大阪医療センターは、国立病院機構（NHO：National Hospital Organization）という141の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS~国立病院機構通信~』を発行しています。

ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、ぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。



QRコード



NHO PRESS

検索

大阪医療センター

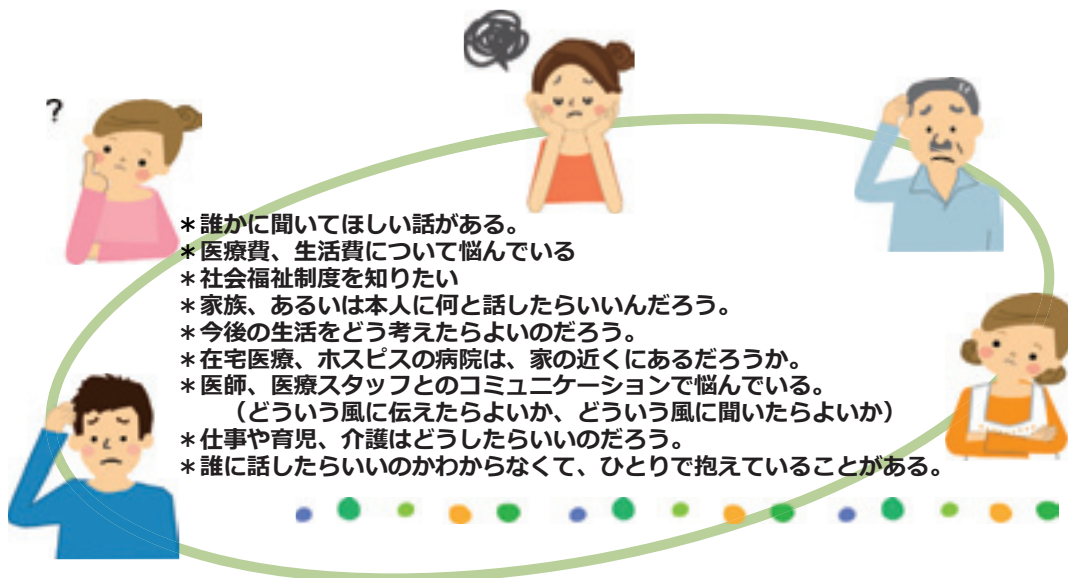
がん相談支援センター

のご案内



患者さん・ご家族の皆さまが、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えます。
お気軽にご利用ください。

相談料は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。
* ご入院中の方は、ご希望により、病室までお伺いいたします。



相談にあたっては、患者さんやご家族のお考えやお気持ちを尊重し、できるだけみなさまご自身で問題の解決を図れるよう支援をいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 9:00～16:00
外来休診日はお休みです

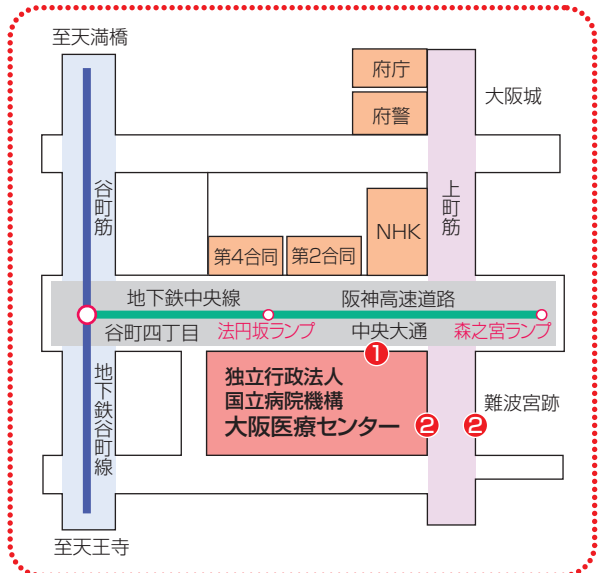
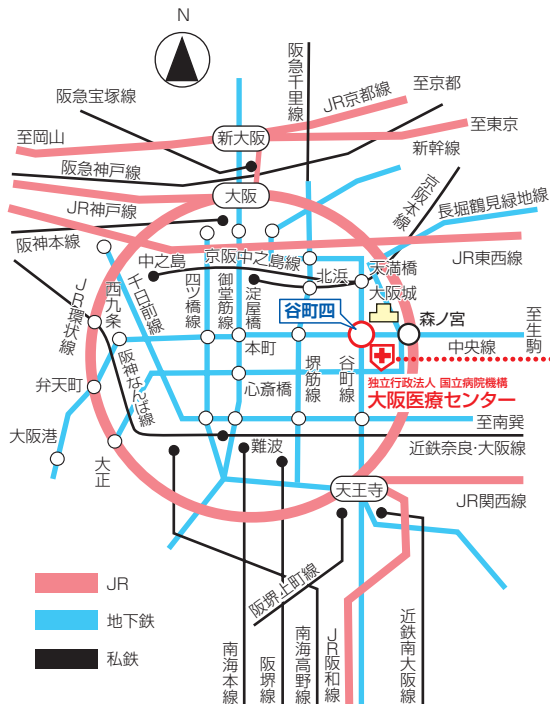
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
やっています



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。